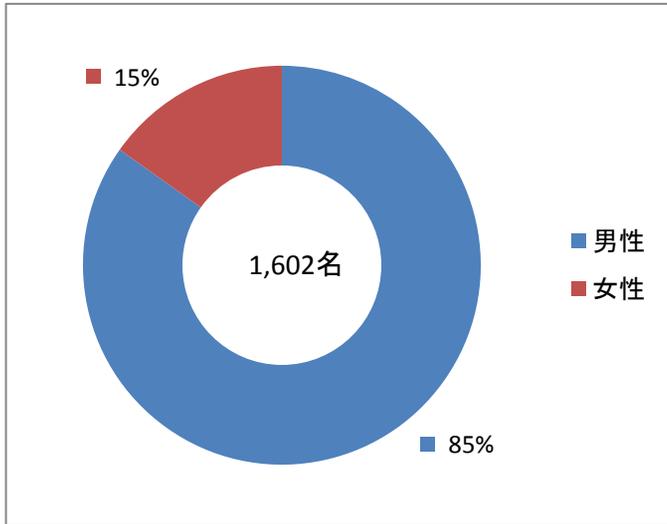


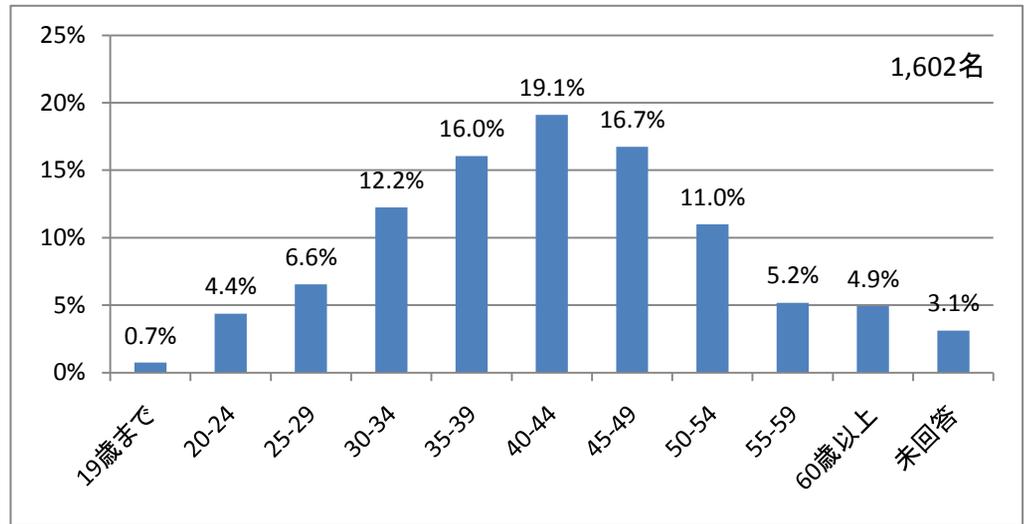
雪道ドライブの“ヒヤリハット(°ロ;ノ)ノ”調査 - CARMATE調べ

調査対象：カーメイトクラブ会員1602名
 調査期間：2010年12月16日～12月23日(8日間)

男女比

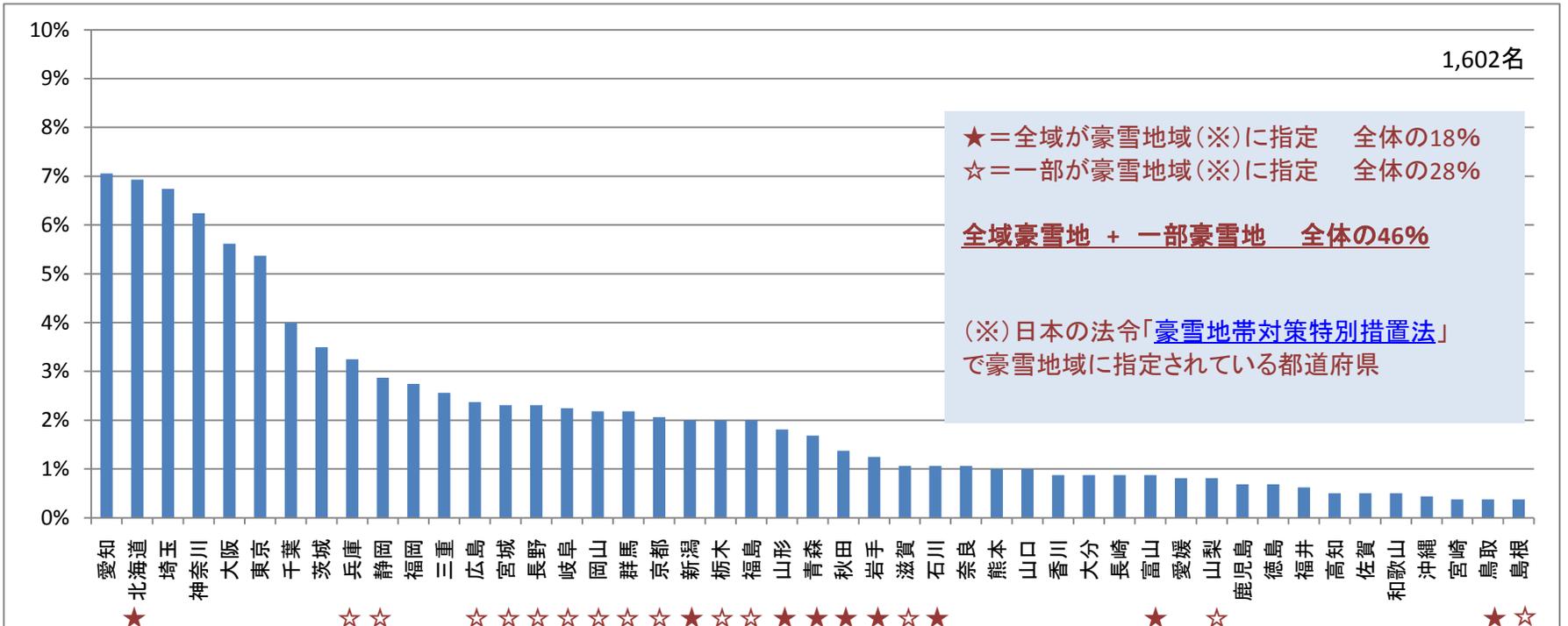


年齢



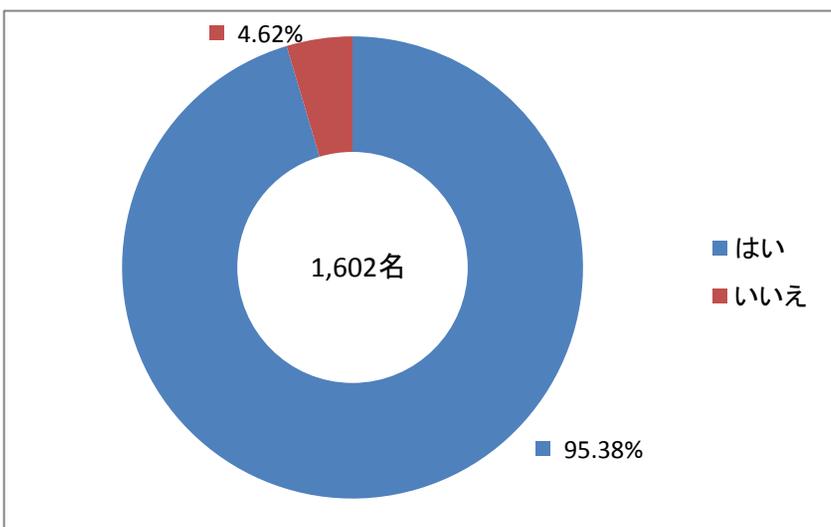
回答者の多くは、30-40代の男性

現在の居住地



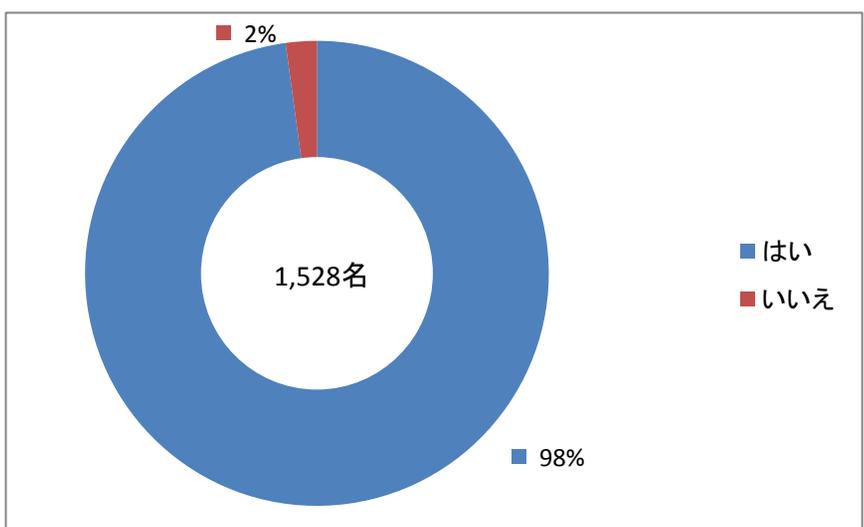
雪道ドライブへの関心や経験が多いせいか、北海道にお住まいの方の回答率が通常よりも高く、豪雪地域近隣にお住まいの方の割合はほぼ半数近い46%を占めている

雪道ドライブの経験はありますか？(同乗だけでも含む)



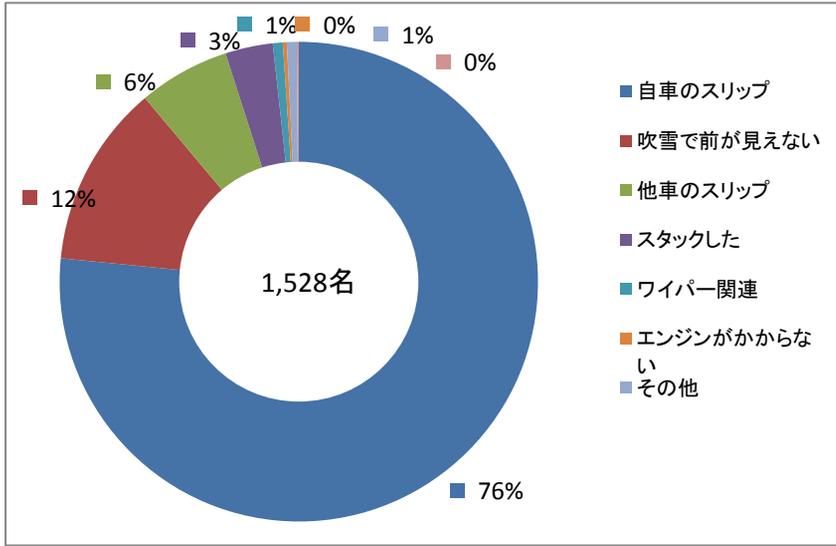
回答者の95%が雪道ドライブの経験者
 豪雪地域在住に関係なく、経験者は多数

雪道ドライブ中に“ヒヤリハット”経験はありますか？(同乗だけでも含む)



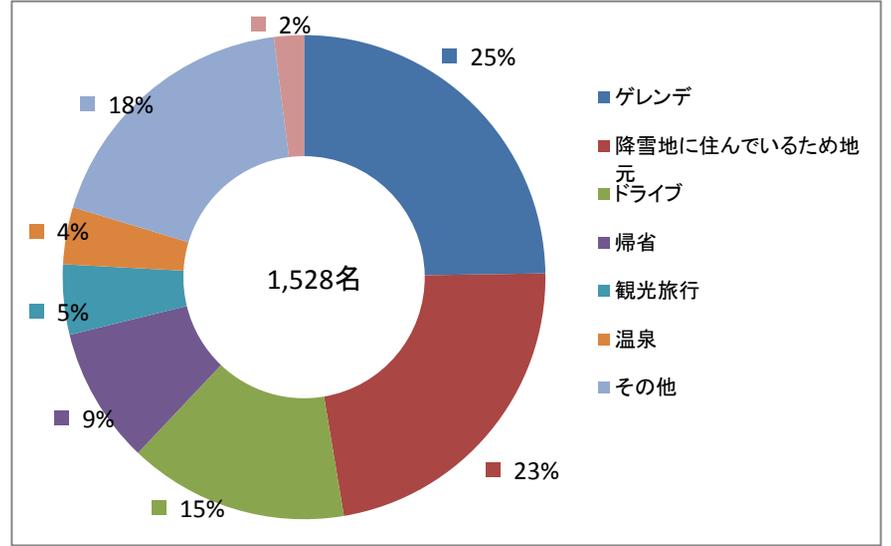
雪道ドライブ経験者のうち、98%が“ヒヤリ！”体験あり

どんな体験でしたか？



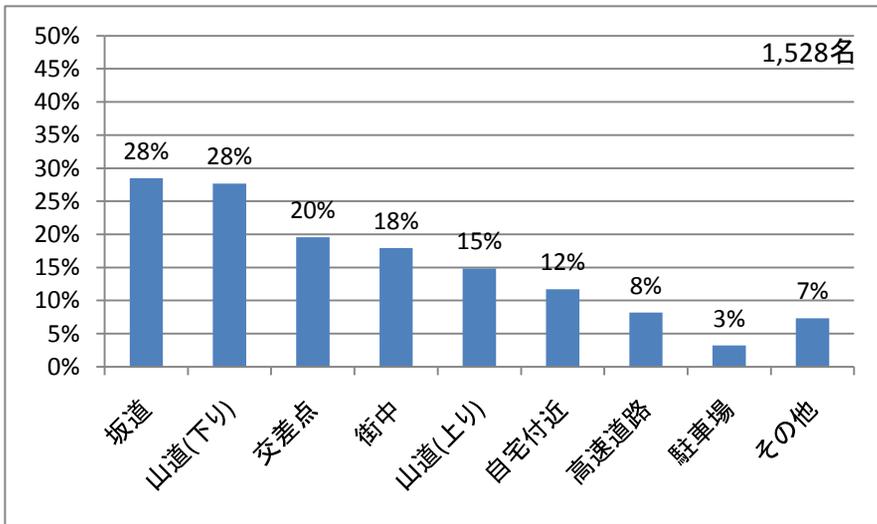
『スリップ』による"ヒヤリ"が圧倒的。他車の『スリップ』と合わせると、8割以上が『スリップ』によるヒヤリ体験
防ぐためには、足元の装備が重要と言える

どこに向かっている？またはどこからの帰りでしたか？



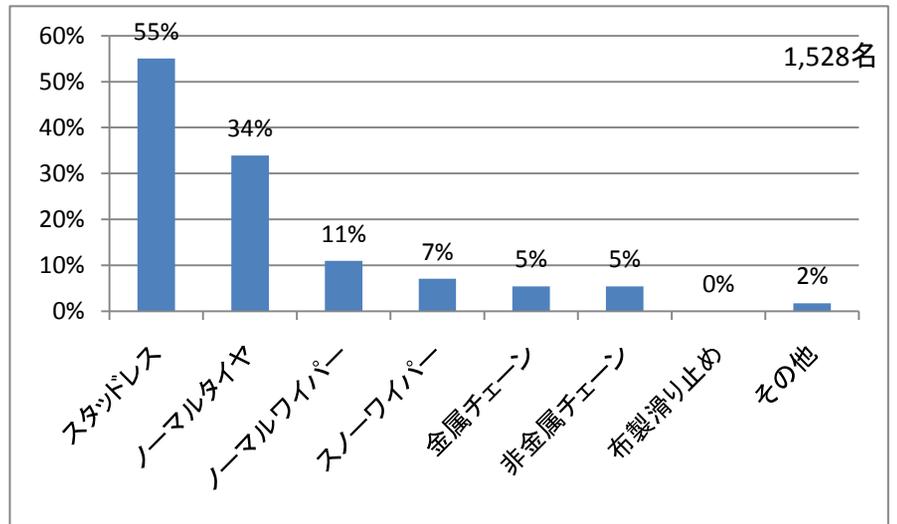
『その他-18%』の内容は、通勤や仕事時が多く、『地元』でのヒヤリも合わせると、日常的での"ヒヤリ"が最も多い
2番目に多いのが『ゲレンデ』までの往復時
雪道運転に慣れている人も、そうでない人も集まる
ゲレンデ付近は特に注意が必要である

それはどのような場所？（複数回答）



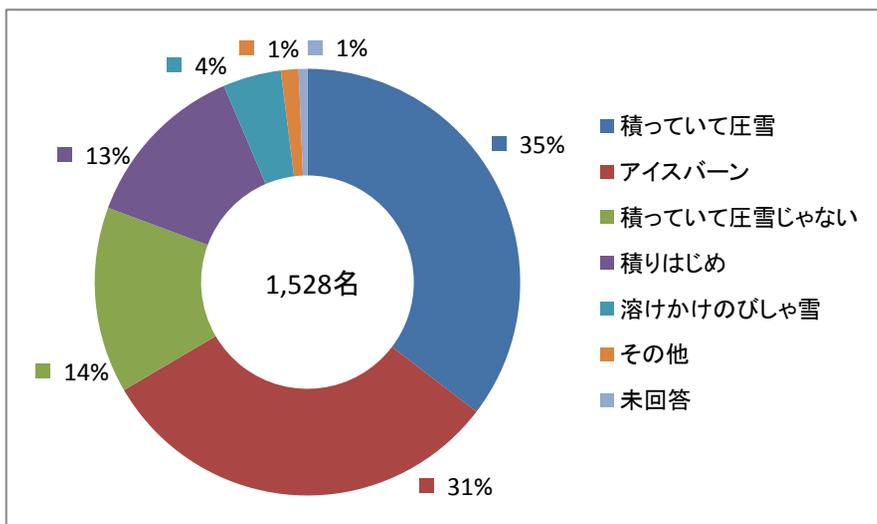
場所で見ると『坂道』での"ヒヤリ"体験が多い傾向
続いて、『交差点』や『街中』も"ヒヤリ"体験者が多い

その時のクルマの装備は（複数回答）



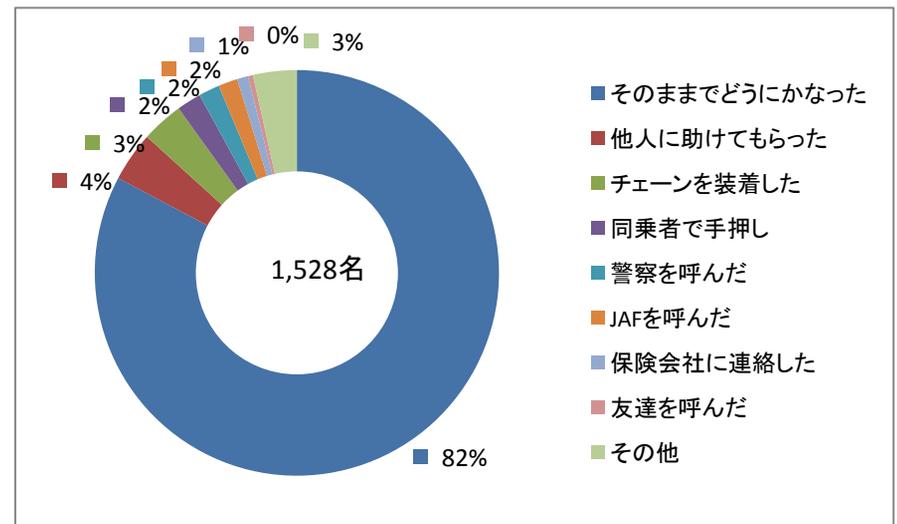
半数以上が『スタッドレスタイヤ』の装着時に"ヒヤリ"を体験
続いて多いのが『ノーマルタイヤ』

雪の積り具合、路面の状態は？



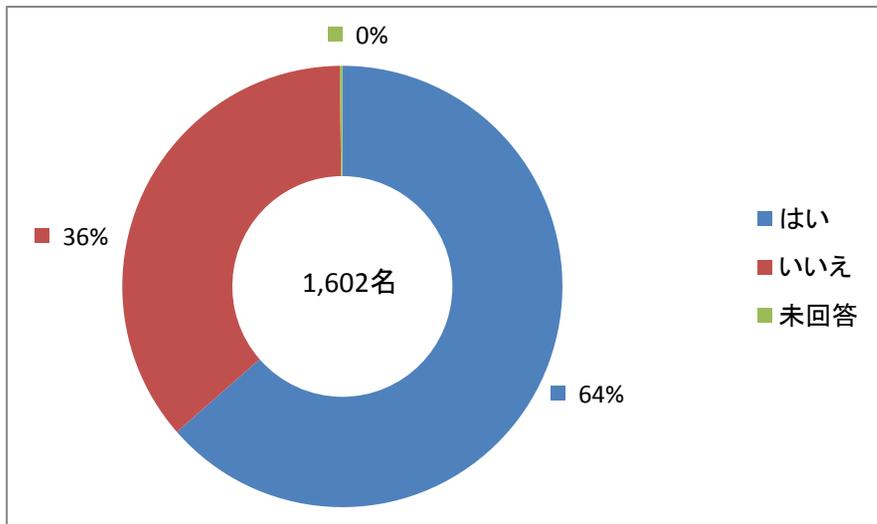
路面の状態は、『圧雪路』や『アイスバーン』など
硬い路面での"ヒヤリ"体験が多い

その時の解決策は？



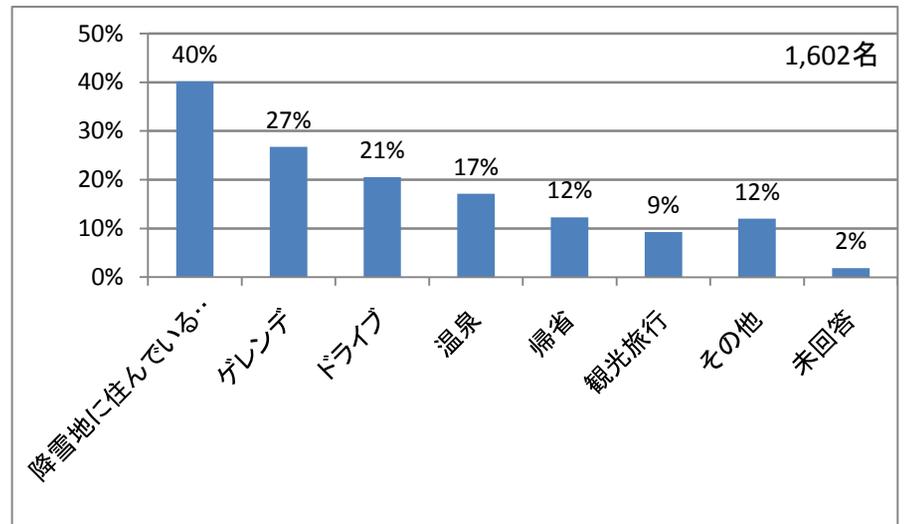
『どうにかなった』人は、自力で回避し事故に至らなかったケース
何もできなかった人から、ハンドル操作、スピード調整、
運転テクニックを駆使...など、回避方法は様々

今シーズンの雪道ドライブ予定は？



6割以上の方が、今シーズン雪道ドライブの予定がある

どこに行く予定ですか？(複数回答)



「はい」と答えた中の40%が雪道ドライブを日常としており、4人に1人は今年スキーやスノーボードに行く予定を立てているようだ

"ヒヤリハット" が起こりやすい要素(まとめ)

- 交通量の多い場所『交差点』『街中』
- ゲレンデまでの行き帰り
- 街も山も共通で『坂道』
- 『アイスバーン』『圧雪路』などの硬い路面
- 『スタッドレスタイヤ』装着時
- 『ノーマルタイヤ』時

"ヒヤリハット" を起こさないために

- ◎上記の場所や状況は特に注意する。上記以外も油断しない。
 - ◎スタッドレスタイヤを履いていても安心しない。アイスバーンや圧雪路に行く時は、チェーンも装備し、早めの装着を心がける
- 『過信しない』『車間距離キープ』『落ち着いて徐行運転』

みなさまの雪道ドライブ“ヒヤリハット”体験談(フリーコメント)

<自分に起こったヒヤリ体験>

- ・上り坂で、アクセルぜんかいてもスルスルタイヤが滑って中々登れなくて、バックで下に落ちるかと思った。
- ・自車のABSがロックし、前車に追突しそうになった
- ・自車が滑った時ハンドルがロックされた。
- ・凍結路面でスタッドレスが古くて止まらなかった。
- ・前方から来るバスの前で車が横を向いた
- ・車ごとガードレールを乗り越え、私有地に落ちた
- ・轍の間の雪に片輪がかかり、あっと言う間に後向きになった
- ・窓が汚れていたためウォッシャー液を使ったら一瞬で凍り付いて前が見えなくなった。

<まわりで起こったヒヤリ体験>

- ・事故車が前でとまった
- ・雪路を低速(約20km)で走行中ゆるい下り坂のカーブに差し掛かった時カーブのど真ん中で車が道を塞ぎ停車していて、慌ててブレーキを踏んだがABSが作動してブレーキが効かず反対車線に逃げて回避した時。
- ・坂道で他車が下りながら滑り横を向いたままこちらにきた
- ・周囲にスリップしている車がいっぱいて怖かった
- ・路肩でチェーンつけてたらスリップした車が突っ込んできた
- ・前で多重玉突き事故が起きたこと。
- ・後続車が猛スピードで追い越してきたとき
- ・友人の車に乗車中、スリップして家にぶつかる。

<みんながとった回避策>

- ・平常心で運転を心がけた
- ・車間距離があり回避した
- ・ハザードをしながら焦らず止まれるスピードギヤを入れ換えながら徐行運転
- ・いくら新雪でスタッドレスを履いてたとしても、過信は禁物である。
- ・信号待ちで、前車がスタートするときタイヤがスリップして回転、動けなくなったが車間距離を十分あけていたため、回避して通行できた。